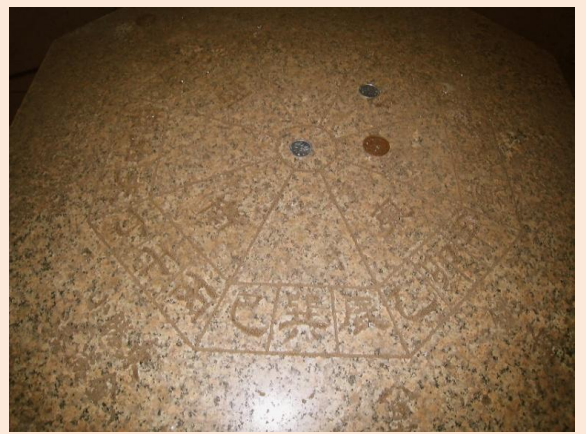


# 方位盤



## 方位盤の上面

この方位盤は群馬県伊勢崎町の佐藤藤三郎氏が奉納したものです。

八角形の図形の内側には東西南北の文字が、その外側には壬・子・癸 丑・艮・寅 甲・卯・乙 辰・巽・巳・午・丁 未・坤・申 庚・酉・辛 戌・乾・亥の方位を現す十干と十二支の文字がまた欄外には放射状にその方向の地名が、南の方向には東金・勝浦また、辰の方向には八日市場、卯の方向には銚子等の地名が記入されています。現在方位盤は、観光地等でよく見かけますね。

この額堂の方位盤は、少し方位がずれて設置されているような感じがします。

方位盤の上面には、下記の様な方位を表わす十干と十二支の文字が刻まれています。

北 北東 東 南東 南 南西 西 北西  
壬・子・癸 丑・艮・寅 甲・卯・乙 辰・巽・巳 丙・午・丁 未・坤・申 庚・酉・辛 戌・乾・亥

十干は甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の 10 種類からなり、**戊・己**以外が方位として使用されています。十二支は**子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥**の 12 種類からなっています。

南東の巽（たつみ）と北西の乾（いぬい）は、ほとんどの方が漢字で書くことができますが、北東の艮（うしとら）と南西の坤（ひつじさる）は、ほとんどの方が知りません。

**乾坤一擲**（けんこんいってき）の四字熟語がありますね。

乾坤一擲とは運を天にまかせて、のるかそるかの大勝負をすること